

法人会ニュース

# そうそう

## 第25号

発行所  
相馬市中村1丁目2番地の3  
(社) 相 双 法 人 会  
発行人  
熊 川 喜 八 郎  
編集  
広 報 委 員 会  
発行日  
平成 17 年 1 月 10 日



### 支部自慢コーナー

#### ②5 大熊町

毎号の表紙は、各支部の自慢の風景・祭り等を掲載し、紹介します。

坂下ダムは、大熊町熊川の支流、大川原上流にあり、総貯水量2,840,000トン。整備されたダム周辺の遊歩道は草花木が四季折々に美しく、年間を通してヘラブナ、コイ、ワカサギ、ヤマメ等の釣りができ、秋には紅葉の美しい樹木に囲まれ芋煮会を楽しむことができます。

また、標高601・5mの日隠山の登山道は、この坂下ダムが起点となっています。日隠山の山開きは、4月29日みどりの日に行われ、会場では記念品の贈呈、地元産品即売、登山後のお楽しみ抽選会・豚汁サービスを楽しむことができます。



# 謹賀新年



(社)相双法人会会長

熊川 喜八郎

あけましてお目出度うございます。年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は国内外を問わず、人災、天災等に多大な被害、それに不況の嵐が吹きあられ過去に経験の無い一年間だったと思います。

年が明け、今年は素晴らしいうちに成ることを期待しそれを信じております。

今年の法人会活動も会員皆さんの協力をいただきながらもっともつと活発に活動をしていかなければならないと考えておりますので、よろしくご協力の程お願い申し上げます。

恰も今年には相双法人会も社団化して三十年を迎える節目の年でもあります。それまで先輩諸氏又会員皆様のご指導ご協力があつたればこそ、現在この会の存続があるのだ

と思いますので、会を代表して心から感謝申し上げます。

つきましては、三十年一区切りをと考え、今年五月頃に三十周年記念式典及び事業を挙行すべく計画し準備を進めている所でございます。従いましてこれらを是非成功する為には、皆さんの協力が不可欠でありますので節にお願ひ致します。そしてこの行事を成功させ、これを機に益々当会の発展につながることを信じて新年のご挨拶といたします。



相馬税務署長

齋藤 雅彦

(はじめに)

平成17年の年頭にあたり、相双法人会の皆様方に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。法人会会員の皆様方には、

平素から、税務行政全般にわたり御理解と多大なる御協力を賜り、紙面をお借りいたしました。心より感謝申し上げます。

(国内経済)

さて、昨年の国内経済は、デジタル家電等を中心に製造業の設備投資に支えられ、景気は「穏やかに改善」されているとの見通しでしたが、原油高や円高等により景気回復の牽引役だった設備投資にブレーキがかかり、景気も「一進一退」の状態が続いている状況と思われまふ。

(県内経済)

また、県内経済は、国内経

済に比べ回復テンポは鈍く、個人消費も横ばいで推移しているところであり、会員企業の皆様方には、県内経済の状況を的確に捉え、健全経営に努力していただきたいと考えております。

(取り巻く環境)

ところで、最近の税務行政を取り巻く環境をみますと、経済のグローバル化により、企業は海外に活動を広げ、法人の事業実態のあり方が大きく変化してきており、税務の仕事はますます複雑かつ困難なものとなつております。

また、少子・高齢化が進み人口減少社会に入らる中で、貯蓄率が大幅に低下するなど経済社会の構造も大きく変化してきており、あるべき税制の具体化に向けた取組が進められております。

(税務行政の課題)

このような中で、税務行政に課せられた課題の現状を国民にわかりやすく説明し、納税者の理解を深めていくことと、e-Tax等のサービスを提供していくことにより、納税者の利便性を向上させていくことにあると考えております。それとともに、税務行政の透明性を確保し、説明責

任を果たすために最大限の努力を行うことによつて、国民の理解と信頼を得ていく必要があると考えております。

(e-Tax・ネットの紹介)

ここで、昨年六月に導入されました、「電子申告・納税システム」(e-Tax)を法人会の皆様方には是非積極的に活用していただき、e-Taxの普及推進に御協力をお願い申し上げます。

また、インターネットを利用して所得税の確定申告書等を作成することができまふので、自書申告の推進にも御協力をお願いいたします。

このように、税務行政も大きく変化しておりますこと、法人会の皆様方の更なる御理解とご協力を賜りたいと存じます。

(終わりに)

最後に、相双法人会の益々の御発展と新しい年が会員皆様方が大きく羽ばたく年となりますことをお祈りいたしまして、年頭の御挨拶といたします。







新地支部長  
角田 義正

新年明けましておめでとう  
ございます。

会員の皆様方には、お健やかに、新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、「炎」という一文字の漢字に表された様に春からの季節はずれの酷暑、連続台風、追い打ちをかけて、新潟中越地震と天災に加え、イラクでの人質殺害、子供の殺人事件多発といった、人間が引き起こした災もありました。

今年、「災」を反省し、災いを転じて福となすことを祈りたいと思います。

また、我が新地支部の法人会活動も、入会募集キャンペーン、会員親睦事業として山形蔵王の紅葉狩り、商工会との合同で改正消費税講習会などを行ってまいりました。

現在の状況を考えますと、会員増強は、なかなか難しいものがありますが、「企業と社会の健全な発展に貢献する団体」として、魅力ある法人会を目指し、努力して参りたい



相馬支部長  
立谷 一郎

思いますので、皆様のご指導、ご協力をお願い致します。

新年明けまして、おめでとう  
ございます。

皆様には、平成十七年を  
ご健にお迎えのこととお慶  
び申し上げます。

さて、平成十六年度相馬支部におきましては、本部と共に、社会貢献活動「ちびっ子相撲大会」等の事業を開催し、会員の皆様のご指導ご協力を頂きまして、成功裡に終えることが出来ました。厚く御礼申し上げます。

昨年は、前半にアテネ五輪での日本人選手の活躍等明るい話題もありましたが、後半からは豪雨、地震等の誠に痛ましい災害に見舞われた年でもありました。中央においては、企業業績の回復等、景気は回復基調にあるといわれておりますが、我々地方においては、依然として不透明な状況であり、未だ予断を許さない状況にあります。そんな中で我々法人会には、税のオピ



鹿島支部長  
竹林 源綱

ニオンリーダーとして、地域振興をバックアップし、経営者を支援して行く使命があります。この使命をしっかりと認識し、目的を達成するため、前向きに希望をもって進みたいと思います。

本年も、法人会活動を通じて、会員の親睦、拡大をはかり、事業充実発展に努め、全力を傾注して取り組んで参りますので、皆様のご指導お力添えを頂きます様お願い申し上げます。

新年明けまして御目出度う  
御座居ます。

会員皆様にはつつがなく平成十七年の新春を迎えられた事とおよろこび申し上げます。

昨年の法人会活動につきまして会員並びに役員皆様のご協力に対し心より感謝申し上げます。

昨年は近年になく災害の多い年でした。台風の本土への上陸も十回をかぞえ、又新潟県中越地震発生、年末にはスマトラ沖大地震による大津波



原町支部長  
寺島 岩男

で大災害に見舞われ、大きな被害を被りました。それらの災害により国内外合わせて数十万人もが犠牲になられました。亡くなられた方々に対し心より冥福をお祈り申し上げます。

さて、今年も昨年同様会員相互の親睦をはかり乍ら、福利厚生制度の拡充及び会員増強についてもより推進を図って行きたいと思っております。

法人会活動全般にわたりまして、会員皆様の御協力を御願ひ申し上げます。

最後になりましたが会員企業各位の益々の御発展と御多幸をご祈念致しまして新年のご挨拶と致します。

新年明けましておめでとう  
ございます。会員の皆様方には日頃からご支援ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

昨年は世界各地で異常気象が多発した年、次々と列島を襲った台風、大きな被害を受けた集中豪雨、真夏日続きの

猛暑と、「観測史上初」が相次ぎ、大地震まで起きた災いの一年でありました。

一方、そんな中、日本列島に感動の嵐を巻き起こしたオリンピックアテネ大会は、次世代に希望の芽生きを感じた一年でもありました。この地球の裏側での祭典を機に大手家電メーカー各社が仕掛けた「プラスマテレビ」なども昨年の大きな経済効果となり、国の根幹である景気回復の兆しが、徐々に見えたかと思いますが、まだまだ日本経済全体では底冷の時代が続いております。一刻も早い景気回復を願ひながら、法人会では会員の皆様の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と、企業経営及び地域社会への健全な発展に貢献する躍進団体として、組織の拡充を図って参りたいと思っております。本年も宜しく御願ひ申し上げます。







飯館支部長  
高橋 英明

謹賀新年、昨年は春から夏まで日照りとなり、夏から秋は長雨に祟られ、異常の中たび重なる台風が発生、そして大きな被害、十月二十三日の新潟地震と、昨年一年を称して「災」とテレビの報道でもありました。又、国政の中でも国から地方への三位一体改革が決まらなく、地方自治体で予算が組めなく困窮する年でもありました。

このような中にもあっても、法人会は「よき経営者をめざす者の団体」として基本に礎づき、組織の拡充・強化策や納税道義の高揚、地域社会への貢献等を推進しております。当飯館支部としまして昨年、十年目にして初めて新潟方面への研修旅行を実施致しました。視察内容は、きのこ栽培、野菜の水耕栽培ですが、新しい考え方に、最新の設備をみてきました。今年も西年「災い転じて福となす」のことわざにも有るように、新年に期待を託し、会員各位のご多幸と一層のご活躍を願い新年の

挨拶と致します。



小高支部長  
菅野 萬正

明けましてお目出度うございます。作年中は色々大変な年でございました。新潟の大地震と大きな台風がいくつもいくつも日本列島を直撃いたしました。幸いにもこの福島県は大した台風の被害も少なく二〇〇五年を迎えました。誠にお目出度うございました。

昨年は当小高支部は退会者がなく四事業所が入会されました。あと二、三の事業所が入会可能でございます。それには会員の相互尊敬と相互信頼が絶対に必要です。支部長はじめ理事、役員の間、そして会員同志が人々から尊敬され信頼される事が大切で、そしてお互いに法人会員である事に誇りをもつ事です。自分が尊敬され信頼される為には相手を尊敬し、信頼する事が大切になります。人は尊敬されればそれにふさわしい人になろうとするとともに尊敬と信頼してくれた

人を尊敬し信頼するようになります。そうする事によつて退会者が少なくなり会員も増えてくるのではないかと思います。

当小高支部も来年度創設三十周年に当たりますので大事業を計画しております。今や邦楽ブームでございます。尺八、琴、三味線等日本古来の楽器を演奏する日本でも有数の先生と知りあいました。山本邦山の一番弟子の藤原道山先生です。TVで今大活躍中でございます。六月末日から七月始めに予定しております。何卒御協力を願います。



浪江支部長  
松原 靖

明けましておめでとうございます。新米の松原です。どうぞよろしくお願い致します。

昨今の厳しい経済状況にあつて事業経営は懸命な努力以外にないと思ひますが、そのためには今こそ健康であることが大切だと思います。例えばカラオケには心と体を元気にする大きな健康効果

があるそうです。

カラオケを普通に一曲歌うと、同じ時間歩いたのと同じくらいのエネルギーを消費し、さらに振りをつけて熱唱すると、同じ時間階段を上ったのと同じエネルギーを消費すること。また、横隔膜を使った、いわゆる腹式呼吸方式で息を大きく吸ってゆっくり思い出の曲を歌うことで、ストレスを解消、心身症をも予防し、さらに感情をこめるとで、感情を言葉にできない失感情症や感動表現ができない無感動症を防ぐこともできます。

カラオケにはデメリットはほとんどないといわれます。カラオケを有効に使い、心身ともに健康な一年にしたいものです。本年も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



双葉支部長  
松本 定雄

あけましておめでとうございます。今年も西年、西は鶏のことで、過般、鳥インフルエンザで大きな社会問題を起しました。食の安全性については私達が生きていく上で根幹にかかわる重要な問題です。国も生産者も十分な配慮をお願いしたいものです。

さて現在の景気動向は日銀短観によれば回復は「踊り場」にさしかかっているとのことですが個人消費を初め全般的にはかなり厳しいものがあります。このような時こそ私達は事業の原点に戻って自助努力に徹することでないかと考えます。

相双法人会も今年度より熊川会長が就任しましたが会長もやる気充分のようです。酒井前会長同様私達は大いにバックアップして会員の皆様が入って良かったと思われような魅力ある事業を展開していきたいと考えます。また相双法人会は会員加入率が50・1%で県連ではブービーです。全国平均加入率55%必達を目





標とし、役員一丸となって頑張っている。今年も会員各位のご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



大熊支部長  
鈴木 充男

新年のご挨拶

アツというまに一年が過ぎ去りました。今年こそはと、考えていたことも、終わってみると、果たしていくつ実行出来ただろうか？自己嫌悪に陥る今日この頃です。

大熊支部の長を仰せつからずから久しくなりますが、ここ暫く当支部の活動はほとんどありません。勉強会のご案内をお送りしても、参加者はごく少数。会員数よりも、むしろ一般参加の方が多くいます。

会合を持っても出席者は私と副支部長三人だけ。出欠の返事もなし。何かと忙しいのは分かりますが、欠席の返事くらいは出してほしいものです。こういう状況は大熊支部だけでしょうか…？

今年こそは目標をしっかりと掲げ、具体的な戦略、戦術で一つひとつ実践していきたいと考えております。会員の皆様の自覚とご協力を促して、新年のご挨拶とさせていただきます。



富岡支部長  
藤沢 徳義

新年明けましておめでとう  
ございます。

昨年は、日本の政治、経済、教育の分野において非常に先が見えない混沌とした状況でありました。

また、台風、地震、豪雨、猛暑など、記録的な天災に相次いで見舞われたことをはじめ、イラクでの人質殺害や子供の殺人事件、美浜原発の蒸気噴出事故、自動車のリコール隠しなど、目を覆うような人災が多発した一年でもありました。

少子高齢化社会、国家、地方財政の悪化などの理由により、社会の構造改革、システムの変革などが求められ、経済においても長期に渡る不景気の中、大きな体制の変革を

求められています。まさに「変革の時代」の真っ只中にあります。

現下の経済環境の中において、新たなサービスの開発、技術革新をすすめ経済の発展に寄与する企業、災害復興に活躍する企業こそ地域の中小企業法人であります。私達法人会は、このような法人企業

の育成に軸足をおき、経営の活性化と革新、及び地域振興を図るため、関係機関との連携を密にして、各種の事業を効果的かつ積極的に展開して参ります。

最後に本年も変わらぬご支援、ご協力をお願いすると共に、皆様のご多幸と健勝をお祈り申し上げます。



青年部会長  
菊地 成一

新年明けましておめでとう  
ございます。会員の皆様にかれまして、輝かしい年の初めを迎えられました事とお喜び申し上げます。

さて、今年、乙酉（キノトトリ）歳。「乙」は、草木の芽が今まさに種子の殻を破り

地上に出ようとして屈（カガ）み軋（キシ）んでいる状態をあらわし、「酉」は、草木の成長は止まりませんが、果実は爛熟の極みに達した状態をあらわしています。

すなわち、長い低迷景気が続いてきましたが、今年あたりから徐々に回復しようとする企業が現れてくる反面、勝ち組み、負け組みの淘汰がさらに進み関連企業の統廃合が、ますます多くなる予感が致します。また、一躍発展したかと思えば、短期間で凋落するような企業も出て、相変わらず競争は激化する事でしょう。

そこで、私たち法人会に所属する企業は、この激流を乗り切るために、今年は何をすべきなのでしょう。経済評論家を気取って、自分のところだけは大丈夫。と思っはいませんか。年初に、今年の経営方針を、きちんと設定し、一年間その目標達成のために、全社員が、力をあわせて邁進していけば、活路が開けるのかなあ、と感じています。

「困難」を、人生を磨く有り難い機会と考えるポジティブな自分でありたいものです。十二月には、ケッコウ、ケッコウと鳴ければ良いのですが…。



女性部会長  
吉岡 順

新年あけましておめでとう  
ございます。皆様にはお健やかに、新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。昨年は、地震、台風、豪雨と、災害の多い一年でした。又、幼児殺害事件、北朝鮮の拉致問題等、暗いニュースが多く、辛い一年を過ごされた方々が多勢いた事を忘れてはならないと思います。景気が良くないとは云え、災害にも見舞われず、無事故で従業員共々、無事に新年を迎えられた事に、感謝したい気持ちでいっぱいです。

今年も例へぬ厳しい社会環境にあっても労使一対となつて、充実した一年を過ごす事が出来る事を目標したいと考えます。

相双法人会女性部会も十年と云う節目の年が過ぎ、又新たな一歩を踏み出しました。昨年、全法連女性部が結成され、地方から全国へと研修の場が広がりました。会員皆様は是非参加され、研鑽を積まれたらと思います。最後に女性部会の皆様の活躍を期待



し、女性部会の発展を念じつつ、合せて相双法人会会員企業各位の発展をご祈念申し上げます、新年の挨拶と致します。



大同生命保険株式会社 原町営業所長 吉田 啓一

法人会役員・会員の皆様、新年明けましておめでとございます。

今年も西年で、私の好きな托鉢者・石川洋氏によると、西年は、熟成期で「だんだんとお酒が熟成してくる時期。ものが出来上がってくる、とても大事な時期」だそうです。また、自分を磨き、虚心になって謙虚になり、お客さま、従業員に配慮、感謝することをお忘れはならないそうです。私どもの業務も広義の「サービス業」だと思っております。弊社では法人会の福利厚生制度、大型保障制度にご加入のお客さまに対して『ドクターオポドクターズネットワーク』というサービスを提供しております。

① 現在治療中の病症状に關する各専門分野を代表する名医（総合相談

医）との相談。

②

主治医以外の医師に現在の診断に対する見解や今後の治療方針、方法について意見を聞く

③

患者（顧客）の病症状に合わせて、高いレベルの専門性を有した専門医、より高度な専門性が求められる場合、最適な専門医の紹介。お問合わせ 大同生命原町営業所

TEL 〇二四四（二四）二六四六

### 支部だより

#### 飯館支部

##### チビツ子たちの笑顔で

##### 雨が吹き飛んだ!!

平成十六年度の飯館支部社会貢献事業は、法人会が地域にとつて身近な存在であることをPRするため、チビツ子たちへの風船プレゼントを実施しました。

十月三十一の日曜日に飯館村公民館駐車場において開催された飯館村商工会主催の



「いたて商工会まつり」の会場には、ミニSLが運行されており、たくさんの子供たちが訪れていました。そのひとりひとりに「相双法人会の風船どうぞ」と声を掛けると、嬉しそうに手に取り、恥ずかしそうに可愛い笑顔で「ありがとうございます」と返事がありました。朝九時から用意した三五〇個すべての風船を休憩も食事もしないで作り配った支部役員と会員は、その笑顔で疲れが吹き飛んだようです。その上、今にも泣き出しそうだった曇り空も持ちこたえ、時々晴れ間も覗くなど、すばらしい支部事業が出来た一日でした。

#### 富岡支部

##### 発明特許利用講習会

平成16年10月26日 富岡町商工会館に於いて『発明特許利用講習会』を開催いたしました。

特許庁は、平成11年度より特許電子図書館を開設し、保有する特許・実用新案・意匠・商標など産業財産権の情報をインターネット上で公開しています。また、平成10年8月に「大学技術移転促進法」が施行され、大学の研究成果を民間企業に技術移転することを目的としたTLO（技術移転機関）が各大学等研究機関に設立されており、これら機関の情報を活用することは、新技術・新商品に必要な情報を得ることができ、効率的な技術開発や新たな事業の展開に結びつけることができます。今回の講習会では特許電子図書館及びTLO技術移転による特許活用方法等の具体的な説明を行うと同時に、実際にインターネットを利用して頂き、特許電子図書館情報の検索方法とその活用方法を初心者にも分かり易く説明を行いました。

### 社会貢献活動を実施の会員企業様へ

会員企業様で、地域への貢献活動を実施されている活動内容をお知らせ下さい。法人ニュース「そうそう」へ掲載させて頂きたいと思ひます。

また、貢献活動を実施されている企業様のご紹介も宜しくお願い致します。

☎0244-36-5754 FAX.0244-36-8944

相双法人会本部事務局へ



双葉海水浴場のクリーンアップ作戦実施 H16.7.14 双葉支部会員





# (社)相双法人会 「特別講演会」開催

去る11月24日、原町駅前のラフォーヌに於て、(社)相双法人会主催による「特別講演会」を相馬税務署齋藤雅彦署長を講師にお招きをし、開催致しました。

当日は、南北約68kmに渡る相双地区より約120名余りの会員企業の代表の皆様が出席をされ、約90分間の講演となりました。

はじめに、齋藤署長が、福島県会津坂下町のご出身であること、昭和42年国税の職場に奉職されまして、近年は、仙台中税務署特別調査官、国税庁仙台派遣主任監察官、前任署の山形県米沢税務署署長の要職を歴任され、7月より相馬税務署に着任されましたことをご紹介申し上げました。

続いて、「高齢社会を支える税」をテーマにわが国の財政の現在の姿とあるべき姿についてのご講演が始まりました。

日本は世界に例を見ないほどの急速な「高齢化」、出生率の低下による「少子化」が進行し、超高齢化社会が到来すると予測されており、社会保障負担・税負担増による生活不安、世代間や高齢者間の負担格差に、税に対する不公平感が生じることが予想される。

将来にわたり安心をもちたす税制、若者から高齢者までがともに支え合う税制、個人や企業の活力を引き出す税制の必要性を力強くお話されました。

会場の講聴者全員が、未来のための公平な税負担、豊かさの実感できる活力のあるこれからの税制に希望を持ちながら、講演会場を後にしました。

## 福島県法人会連合会女性部会連絡協議会

### 第5回会員研修会「いわき大会」

平成16年11月2日 (火) 「パレスいわき」

県内女性部会会員196名参加

(相双法人会21名参加)

**講演**

**演題「女へんの経済が創るやわらかな社会」**



講師  
**植田 貴世子 氏**

(株)ステラ代表取締役社長  
(株)クラッシー代表取締役社長



## 編集後記

新年あけまして、おめでとうございます。法人会事務所も新しく移転し、本当に新たな年として。今年、いただいた年賀状に、ある会社から従業員さん全員の笑顔の写真が入ったものをいただきました。改めて笑顔はいいものだなぁと感じ、この会社を見習い笑顔の多い年にしたいと思いました。今年も大きな希望を持つて共に前進する年にしていきましょう。会員企業の従業員皆さんの笑顔を期待いたします。

昨年末のインド洋地震による津波は、世界に大きな影響を与え20万近くの方々が亡くなり、その数倍の方々が住む所を失いました。この一瞬の出来事に対して、私たちにできるのは、積極的な義援活動と将来を見据えながら、現在を大切に生きていくことだと考えます。

菊地 逸夫



# 第8回会員親睦ゴルフ大会

鹿島カントリー倶楽部 平成16年11月17日(水)

## コンペ結果

### 〈個人の部〉

優 勝	熊川喜八郎	(株)双葉紙器	(双葉)
準優勝	松村 昭治	(有)松村製作所	(浪江)
第3位	鈴木 輝夫	協川興業(有)	(富岡)
第4位	関本 甫征	(株)セキモト	(富岡)
第5位	佐藤 博志	(有)尾形自動車	(相馬)

### 〈団体の部〉

優 勝	浪江支部	296.4
準優勝	富岡支部	297.6
第3位	双葉支部	299.8

\*平成17年度は、社団法人設立30周年の記念事業として、盛大に開催されますので、是非、皆様、お誘い合わせの上ご参加ください。



浪江支部団体優勝 浪江支部長へ

## 相双法人会本部事務所移転のお知らせ

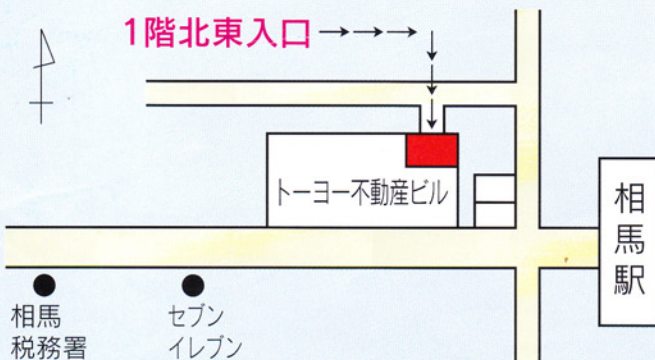
〒976-0042

相馬市中村1丁目2番地の3

トーヨー不動産ビル内 1F

☎ 0244-36-5754

FAX. 0244-36-8944



めざまし 企業の繁栄と社会への貢献

## 新会員募集中



お問い合わせは、相双法人会まで